

第 43 回京都甲状腺研究会プログラム

※日本内分泌学会内分泌代謝科専門医認定更新単位として2単位取得しております。

日 時：令和4年1月22日（土）15：30～18：00

場 所：Web配信（Zoom ウェビナー：完全オンライン形式）

演題発表：1題につき発表7分以内、討論5分を予定しています

会 費：なし

当番世話人：浜松医科大学 佐々木 茂和
神戸市立医療センター中央市民病院 籾谷 雄二

顧問：北山武田病院 稲田 満夫
杉田玄白記念公立小浜病院 小西 淳二
隈病院 中村 浩淑
高松赤十字病院 笠木 寛治
京都大学 中尾 一和
隈病院 西川 光重
神戸市立医療センター中央市民病院 石原 隆
隈病院 赤水 尚史

世話人：大阪市立総合医療センター 金本 巨哲 関西医科大学 豊田 長興
京都医療センター 田上 哲也 京都市立病院 小松 弥郷
京都大学 稲垣 暢也 京都大学 小杉 眞司
倉敷中央病院 横田 敏彦
神戸市立医療センター中央市民病院 籾谷 雄二
静岡県立総合病院 井上 達秀 須川クリニック 須川 秀夫
天理よろづ相談所病院 御前 隆 浜松医科大学 佐々木 茂和
(施設五十音順)

事務局：京都大学 藤井 寿人

共 催 京都甲状腺研究会
大日本住友製薬株式会社

【開会の辞】 当番世話人 佐々木 茂和、籾谷 雄二

【一般演題Ⅰ】 (15:35~)

座長： 神戸市立医療センター中央市民病院 籾谷 雄二

- 1) 「甲状腺クリーゼを呈し、S状結腸癌と鑑別困難であった左卵巣原発絨毛癌の1例」
倉敷中央病院 内分泌代謝・リウマチ内科
澤井 瑠一、井上 祥花、井上 愛子、浜松 圭太、岡崎 恭子、西澤 衡、
村部 浩之、横田 敏彦
- 2) 「縦隔原発大細胞型B細胞性リンパ腫に対するR-ESHAP療法中に、
未治療バセドウ病が寛解に至った1例」
大阪市立総合医療センター 内分泌内科¹⁾、血液内科²⁾
笹井 有美子¹⁾、吉村 卓朗²⁾、山下 唯¹⁾、山上 啓子¹⁾、金本 巨哲¹⁾
- 3) 「脊髄小脳変性症に対しTRH誘導体タルチレリン服用中に
甲状腺機能異常を呈した1例」
京都市立病院 内分泌内科¹⁾、京都光華女子大学 健康科学部医療福祉学科²⁾
小松 弥郷¹⁾、小嶋 勝利¹⁾、藤竹 純子²⁾
- 4) 「バセドウ病に黒色甲状腺、甲状腺乳頭癌の多発を認めた一例」
JA 静岡厚生連遠州病院 内分泌内科¹⁾、医療法人社団新風会丸山病院²⁾
後藤 良重¹⁾、鈴木 究子¹⁾、伊藤 暉¹⁾、西野 暢彦²⁾

【一般演題Ⅱ】 (16:45~)

座長： 大阪市立総合医療センター 金本 巨哲

- 5) 「レボチロキシン大量服用による甲状腺中毒症の1例」
神戸市立医療センター中央市民病院 糖尿病内分泌内科
藤本 寛太、藤島 雄幸、大久保 万理江、籾谷 雄二、岩倉 敏夫、松岡 直樹
- 6) 「当院における甲状腺眼症に対するステロイドパルス療法の現状」
京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学
山内 一郎、須川 琢、伯田 琢郎、藤田 晴香、岡本 健太郎、植田 洋平、
藤井 寿人、田浦 大輔、稲垣 暢也

7) 「 甲状腺眼症の一表現型として眼窩内腫瘍-Connective tissue with mild lymphoplasmacytic infiltration-を形成した症例 」

京都医療センター内分泌・代謝内科¹⁾、京都医療センター臨床研究センター²⁾、
京都大学医学部附属病院眼科³⁾

中谷理恵子¹⁾、北村拓也¹⁾、石原裕己¹⁾、廣嶋佳歩¹⁾、難波多拳¹⁾、立木美香¹⁾、
田上哲也^{1) 2)}、日下部徹²⁾、浅原哲子²⁾、八十田明宏²⁾、高橋洸²⁾、藤本雅大³⁾

8) 「 抗甲状腺剤の副作用のため放射性ヨウ素治療を行った

甲状腺ホルモン不応症(Q340H)合併バセドウ病の1例 」

浜松医科大学第2内科・内分泌科¹⁾ 同 放射線治療科²⁾

佐々木 茂和¹⁾、松下 明生¹⁾、大場 健司¹⁾、黒田 豪¹⁾、酒井 勇輝¹⁾、
小西 憲太²⁾

【 閉 会 の 辞 】 次回当番世話人